

《担当者名》准教授 / 町田 拓自

【概要】

生体機能の理解や疾病の病態生理研究の進歩により、近年新しい医薬品、特に生物学的製剤や分子標的薬が開発・臨床応用され、高い治療効果を上げている。本講義ではそのような医薬品に焦点を当て、その作用機序や副作用、使用上の問題点などを修得する。

【学修目標】

- ・血液凝固系に作用する新しい生物学的製剤の作用機序、薬理作用、副作用などを説明できる。
- ・造血系に作用する新しい生物学的製剤の作用機序、薬理作用、副作用などを説明できる。
- ・その他の新しい生物学的製剤や分子標的薬の作用機序、薬理作用、副作用などを説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	生物学的製剤とは	現在使用される生物学的製剤・分子標的薬の現状について説明できる。	町田 拓自
2	血栓形成機序 1	止血血栓及び病的血栓形成機構について説明できる。	町田 拓自
3	血栓形成機序 2	血液凝固系に関する最新の知見を紹介できる。	町田 拓自
4	抗血小板薬概論	現在使用される抗血小板薬について説明できる。	町田 拓自
5	新規抗血小板薬	新規チエノピリジン系抗血小板薬に関する最新の知見を紹介できる。	町田 拓自
6	抗凝固薬概論	現在使用される抗凝固薬について説明できる。	町田 拓自
7	新規抗凝固薬	新規経口抗第Xa因子阻害薬に関する最新の知見を紹介できる。	町田 拓自
8	血栓溶解薬概論	現在使用される血栓溶解薬と新規薬物について説明できる。	町田 拓自
9	造血薬概論	現在使用される造血薬について説明できる。	町田 拓自
10	造血因子製剤	新規血小板減少症治療薬に関する知見を紹介できる。	町田 拓自
11	白血病治療薬概論	白血病治療に用いられる生物学的製剤・分子標的薬について説明できる。	町田 拓自
12	抗悪性腫瘍薬概論	悪性腫瘍に用いられる生物学的製剤・分子標的薬について説明できる。	町田 拓自
13	抗リウマチ薬概論	現在使用される抗リウマチ薬について説明できる。	町田 拓自
14	抗サイトカイン薬	TNF- 関連薬に関する最新の知見を紹介できる。	町田 拓自
15	まとめ	これまでの項目に関連した論文内容についてレポート作成する。	町田 拓自

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

受講態度（出席を含む：20％）、学習目標の到達度（関連論文内容の概説とレポート）（80％）

【教科書】

なし

【参考書】

上記項目に関連する論文（英文）

【学修の準備】

授業内容に関連する病態生理、基礎薬理学的な知識を良く理解しておくこと。